



希望ある未来へ
地域と歩む
北海道財務局



道南経済レポート

VOL.131

令和8年8月発表
財務省函館財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>



公式マスコットキャラクター
きたまるん

— 目 次 —

ページ

道 南 経 済 の 概 況	_____	1
1. 個 人 消 費	_____	2
2. 観 光	_____	5
3. 住 宅 建 設	_____	6
4. 公 共 事 業	_____	7
5. 雇 用 情 勢	_____	8
6. 金 融	_____	9
7. 企 業 倒 産	_____	10
8. 生 産 活 動	_____	11

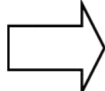
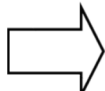
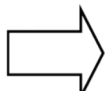
《利用上の注意》

- ・ 単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない場合があります。
- ・ 符号の用法は次のとおりです。
「p」～速報値 「r」～改定値 「－」～該当数値なし

【道南（渡島・檜山）経済の概況（令和８年４～６月期）】

住宅建設は弱含んでおり、雇用情勢は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。
一方、個人消費は緩やかに持ち直しているほか、観光は回復している。
このように、管内経済は持ち直している。

《道南経済レポート判断の推移》

項 目	前回(令和８年６月発表)	今回(令和８年８月発表)	前回判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	
個人消費	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
観 光	回復している	回復している	
住宅建設	弱含んでいる	弱含んでいる	
公共事業	前払金保証請負金額は前年を上回る	前払金保証請負金額は前年を上回る	
雇用情勢	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	

1. 個人消費～緩やかに持ち直している

(1) 主要小売店売上高

大型小売店の売上高は、節約志向が継続しているものの、衣料品や飲食料品などが堅調であったことから、前年を上回っている。

食料品スーパーの売上高は、節約志向が継続しているものの、即食簡便な弁当・総菜などが好調であったことから、前年を上回っている。

ホームセンターの売上高は、園芸用品や石油由来の製品が好調であったことから、前年を上回っている。

家電販売は、エアコンや携帯電話の買換需要などにより、全体としては順調となっている。

(2) 乗用車販売

乗用車販売(新車登録届出台数)は、人気車種の販売が堅調であることに加え、環境性能割廃止前の買い控えからの反動により、前年を上回っている。

ヒアリング先からのコメント

○節約志向は、強まってはいないが依然として継続しており、セール時にまとめ買いする顧客が多い。(大型小売店)

○節約志向は引き続き強いと感じる一方で、消費者が値上げに慣れてきており、値上げた品目でも販売数量が大きく落ち込むことはなく、消費者マインドに変化はみられない。

(食料品スーパー)

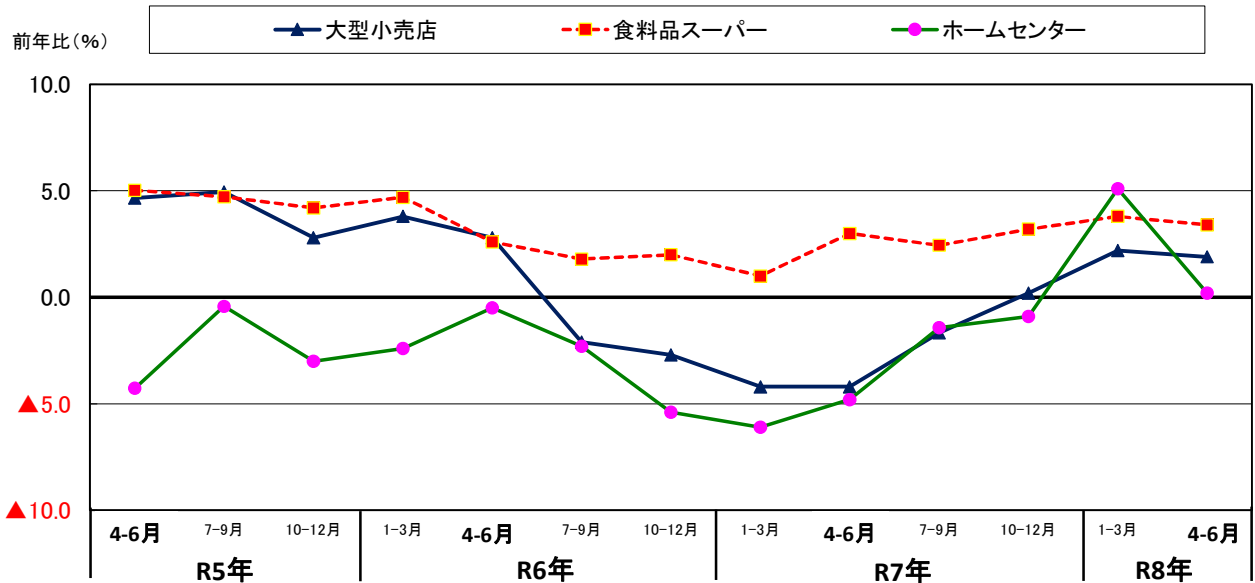
○生活防衛意識が高く、プライベートブランド商品など安価な商品の販売が増加している。

(ホームセンター)

○2027年度の省エネ基準厳格化を背景に、エアコンの需要が高まった。(家電量販店)

○機能性が高い人気車種の受注再開を待つ注文する動きが強くみられ、販売価格にかかわらず、欲しい車両は入手したいという消費者の意識が強い。(自動車販売店)

主要小売店売上高



主要小売店売上高

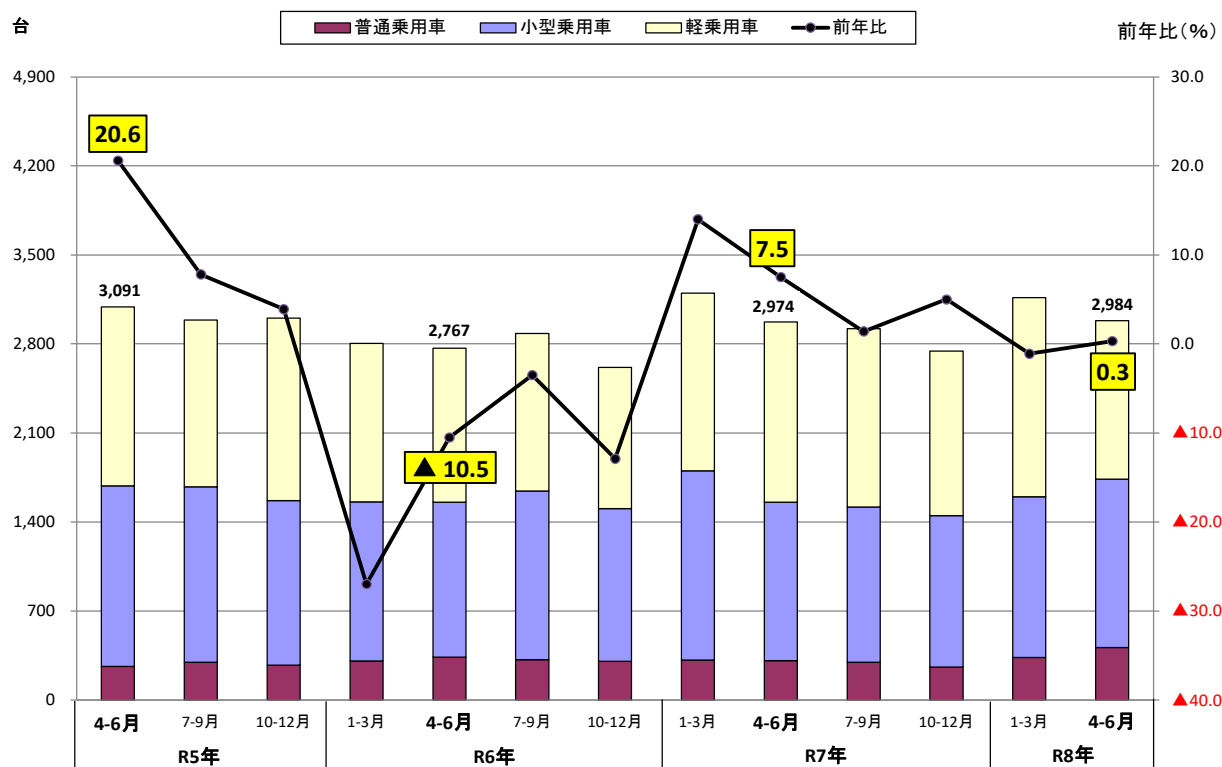
(単位:百万円、%)

		①大型小売店売上高		②食料品スーパー売上高		③ホームセンター売上高	
			前年比		前年比		前年比
R5	年	18,069	4.9	73,014	4.2	10,574	▲ 3.7
6	年	18,119	0.3	75,028	2.8	10,289	▲ 2.7
7	年	17,685	▲ 2.4	76,844	2.4	9,968	▲ 3.1
R7.	4～6	4,131	▲ 4.2	18,782	3.0	2,761	▲ 4.8
	7～9	4,268	▲ 1.7	19,183	2.4	2,592	▲ 1.4
	10～12	5,011	0.2	20,395	3.2	2,728	▲ 0.9
R8.	1～3	4,370	2.2	19,188	3.8	1,983	5.1
	4～6	4,210	1.9	19,422	3.4	2,766	0.2
R8.	1	1,507	3.3	6,493	4.4	656	6.1
	2	1,360	3.6	6,261	4.1	556	1.2
	3	1,504	▲ 0.1	6,435	2.9	771	7.3
	4	1,319	2.2	6,473	3.1	918	7.6
	5	1,439	5.7	6,557	5.3	1,016	2.2
	6	1,451	▲ 1.8	6,392	1.8	832	▲ 8.9

※管内主要小売店9社

資料: 函館財務事務所

乗用車販売



新車登録届出台数(乗用車)

(単位: 台、%)

		合計		普通乗用車		小型乗用車		軽乗用車	
			前年比		前年比		前年比		前年比
R5	年	12,921	14.6	1,262	65.2	5,944	15.0	5,715	7.0
6	年	11,068	▲14.3	1,265	0.2	5,000	▲15.9	4,803	▲16.0
7	年	11,839	7.0	1,179	▲6.8	5,141	2.8	5,519	14.9
R7.	4～6	2,974	7.5	309	▲8.3	1,245	2.0	1,420	17.4
	7～9	2,921	1.4	297	▲6.6	1,220	▲7.9	1,404	13.4
	10～12	2,745	5.0	259	▲14.8	1,189	▲1.1	1,297	17.0
R8.	1～3	3,163	▲1.1	334	6.4	1,265	▲14.9	1,564	11.9
	4～6	2,984	0.3	411	33.0	1,326	6.5	1,247	▲12.2
R8.	1	801	▲12.6	101	7.4	331	▲23.7	369	▲5.1
	2	949	▲1.6	92	5.7	376	▲19.1	481	16.7
	3	1,413	7.2	141	6.0	558	▲5.1	714	19.6
	4	946	1.5	140	30.8	428	5.9	378	▲10.2
	5	924	5.7	118	20.4	397	13.8	409	▲4.2
	6	1,114	▲4.6	153	47.1	501	1.8	460	▲19.6

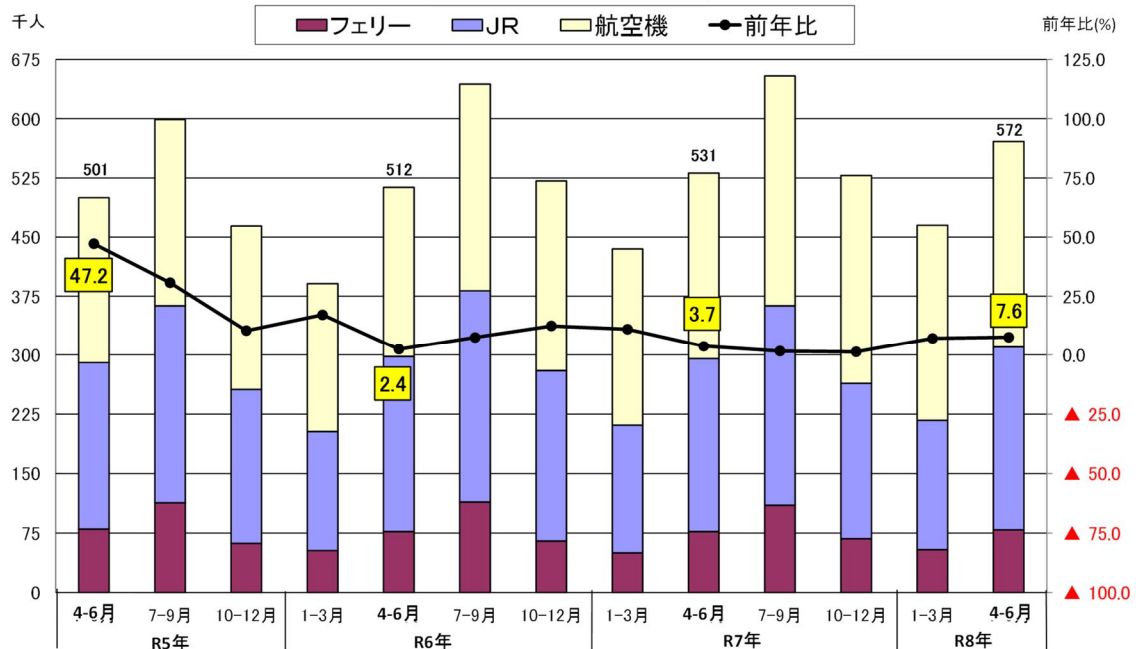
資料: 日本自動車販売協会連合会函館支部、全国軽自動車協会連合会函館事務所

2. 観光～回復している

函館圏の入込客数※1、主要宿泊施設宿泊者数及び主要観光施設利用者数は、観光需要が好調となっていることから、回復している。

※1: フェリー(青森→函館便)、JR(新青森→新函館北斗)、航空機(函館空港着便)利用者数を「函館圏の入込客数」と表現した。

入込客数



函館圏の入込客数															(単位: 千人, %)			
	合計														主要宿泊施設 宿泊者数			
	前年比		フェリー 青森→ 函館		JR (津軽海峡線)		航空機※2		合計		道内		道外		海外		前年比	
	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比	前年	比
R5年度	1,954	25.9	309	11.1	804	38.6	842	21.1	102	12.9	689	14.1	50	皆増	1,504	19.6	2,654	42.4
6年度	2,112	8.1	305	▲ 1.2	865	7.6	942	11.9	120	17.4	742	7.7	80	58.4	1,699	12.9	3,448	29.9
7年度	2,178	3.1	309	1.3	830	▲ 4.1	1,039	10.4	121	0.4	818	10.2	101	27.0	1,706	0.4	3,362	▲ 2.5
R7. 4～6	531	3.7	77	0.5	218	▲ 1.4	236	10.0	31	8.5	187	12.7	18	▲ 10.0	407	0.0	836	0.7
7～9	654	1.6	110	▲ 3.2	253	▲ 5.6	291	11.0	33	▲ 1.3	233	12.8	25	11.9	500	▲ 1.0	1,062	▲ 2.0
10～12	528	1.3	68	4.7	196	▲ 8.9	264	9.5	29	▲ 4.6	208	8.2	27	46.6	432	2.7	706	▲ 6.2
R8. 1～3	465	7.1	54	8.3	163	1.2	248	11.0	28	▲ 0.2	190	7.0	30	66.0	366	▲ 0.0	758	▲ 3.0
4～6	572	7.6	79	2.8	231	6.0	261	10.6	32	3.1	205	9.5	25	35.6	421	3.2	879	5.2
R8. 1	136	▲ 4.7	16	0.0	45	▲ 13.5	76	0.4	7	▲ 21.8	58	▲ 1.7	11	45.6	116	▲ 9.7	198	▲ 26.6
2	145	7.5	14	8.0	52	▲ 1.9	79	14.6	9	5.5	60	9.4	10	81.0	117	3.5	251	7.5
3	184	17.4	24	14.6	66	17.9	94	17.8	12	14.0	72	13.0	10	77.7	132	6.9	309	11.2
4	174	8.2	24	▲ 1.3	66	4.8	84	14.2	11	10.2	65	11.0	9	55.9	131	1.3	320	11.0
5	198	8.7	30	9.0	78	4.0	90	12.9	10	▲ 2.4	71	12.6	8	46.0	145	2.2	301	1.3
6	199	6.0	25	▲ 0.2	87	8.8	87	5.2	11	1.9	69	5.1	8	11.5	145	6.1	258	3.1

※2: 航空機の道内線は奥尻線を除く。

※3: 主要観光施設は、函館山ロープウェイ・箱館奉行所・五稜郭タワーの利用者数を集計。

資料: 函館運輸支局、JR北海道函館支社、北海道エアポート(株)、管内主要17宿泊施設、函館市

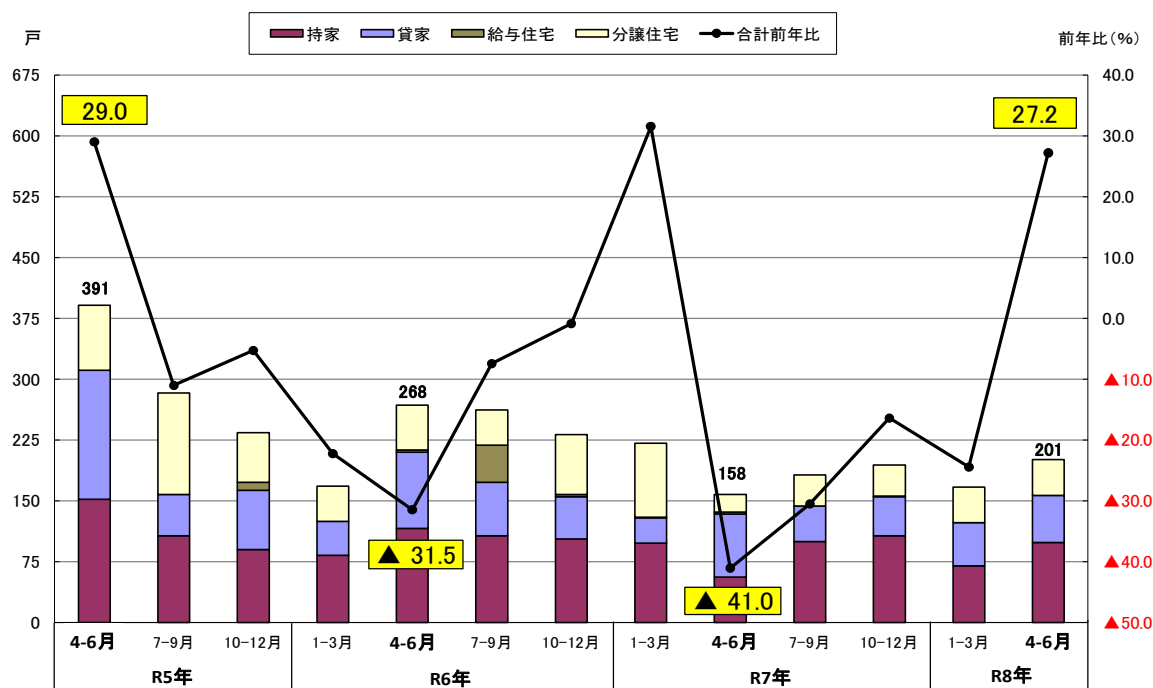
ヒアリング先からのコメント

- 函館が「満足度の高い経験ができる旅行先」として選ばれている。(交通機関)
- ゴールデンウィークやイベント時に客室単価を上げても、宿泊需要が落ち込まなかった。(宿泊施設)
- 花見を目的とした団体客や、イベントを目的とした観光客の利用が堅調だった。(観光施設)
- 海外客は、中国による渡航自粛の影響はあるものの、直行便を利用した韓国・台湾からの観光客が増加しており、好調に推移している。(観光施設)

3. 住宅建設～弱含んでいる

新設住宅着工戸数(函館市、北斗市)をみると、持家及び分譲住宅は
いずれも前年を上回っているものの、貸家は前年を下回っており、全体と
しては弱含んでいる。

新設住宅着工戸数（函館市、北斗市）



新設住宅着工戸数

(単位：戸、%)

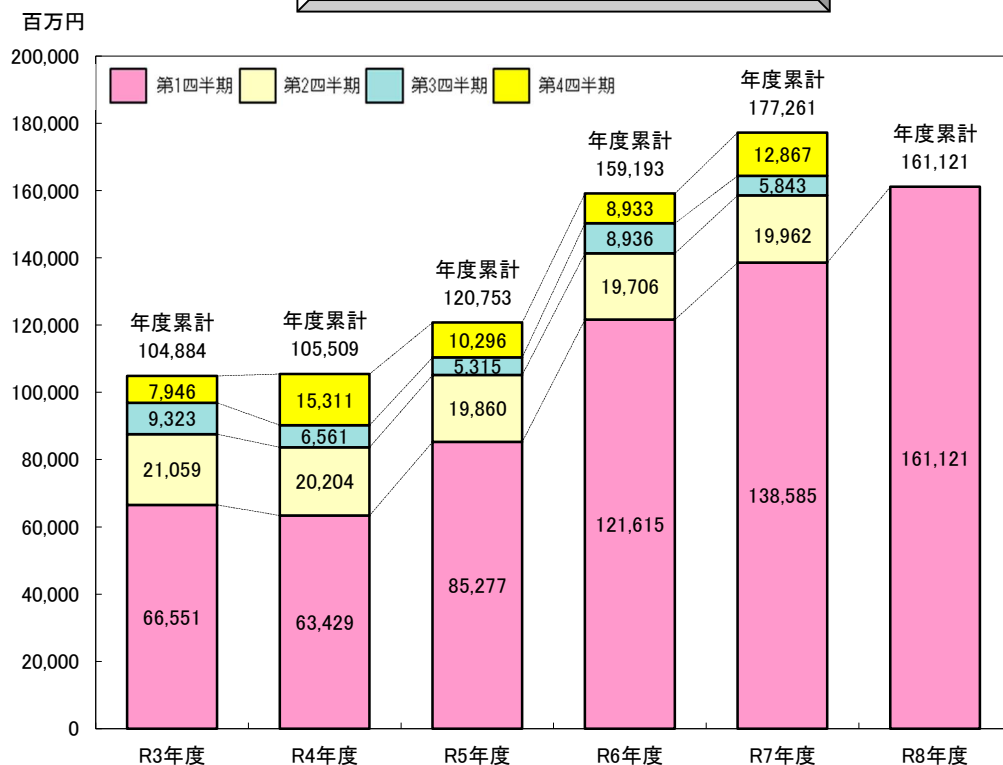
		新築計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
R5	年	1,124	▲ 2.6	435	▲ 22.5	365	14.1	10	2.5倍	314	16.7
6	年	930	▲ 17.3	409	▲ 6.0	254	▲ 30.4	52	5.2倍	215	▲ 31.5
7	年	755	▲ 18.8	361	▲ 11.7	201	▲ 20.9	4	▲ 92.3	189	▲ 12.1
R7	4～6	158	▲ 41.0	56	▲ 51.7	78	▲ 17.0	2	▲ 33.3	22	▲ 60.0
	7～9	182	▲ 30.5	100	▲ 6.5	44	▲ 33.3	0	皆減	38	▲ 11.6
	10～12	194	▲ 16.4	107	3.9	48	▲ 7.7	1	▲ 66.7	38	▲ 48.6
R8	1～3	167	▲ 24.4	70	▲ 28.6	53	71.0	0	皆減	44	▲ 51.6
	4～6	201	27.2	99	76.8	58	▲ 25.6	0	皆減	44	2.0倍
R8	1	80	2.3倍	25	25.0	33	6.6倍	0	0.0	22	2.2倍
	2	31	▲ 52.3	21	16.7	0	0.0	0	0.0	10	▲ 78.7
	3	56	▲ 53.7	24	▲ 60.0	20	▲ 23.1	0	皆減	12	▲ 64.7
	4	96	45.5	37	2.8倍	37	▲ 22.9	0	0.0	22	4.4倍
	5	41	32.3	30	87.5	3	▲ 25.0	0	皆減	8	▲ 20.0
	6	64	4.9	32	18.5	18	▲ 30.8	0	皆減	14	2.0倍

資料：国土交通省

4. 公共事業～前払金保証請負金額は前年を上回る

公共工事を前払金保証請負金額(令和8年度第1四半期)でみると、国、北海道、市町及び独立行政法人等はいずれも前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



(単位: 百万円、%)

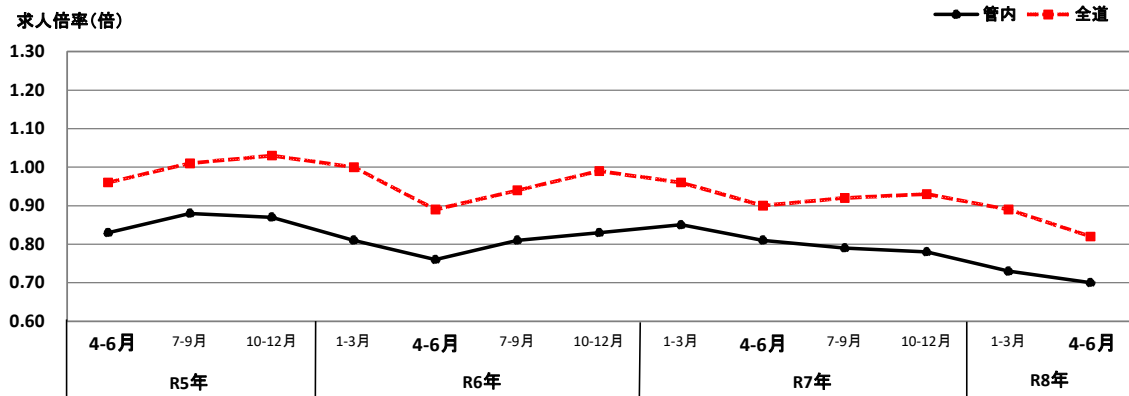
	管内累計 (年度)		管内単月計	
		前年比		前年比
R5 年度	120,753	14.4	—	—
6 年度	159,193	31.8	—	—
7 年度	177,261	11.3	—	—
R7. 4～6	138,585	14.0	138,585	14.0
7～9	158,547	12.2	19,962	1.3
10～12	164,392	9.4	5,843	▲ 34.6
R8. 1～3	177,261	11.3	12,867	44.0
4～6	161,121	16.3	161,121	16.3
R8. 1	166,329	10.5	1,936	7.5倍
2	167,260	10.5	931	1.8
3	177,261	11.3	10,000	28.9
4	114,977	30.0	114,977	30.0
5	139,694	11.1	24,716	▲ 33.7
6	161,121	16.3	21,427	66.5

資料: 北海道建設業信用保証(株)

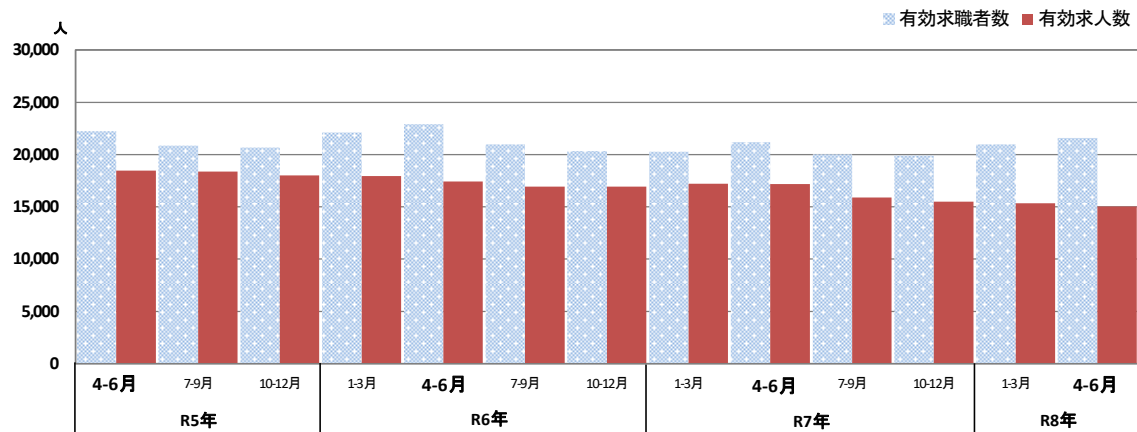
5. 雇用情勢～持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

雇用情勢は、人手不足が続く中、人件費増加等を背景として求人数が減少していることなどから、有効求人倍率(常用)は低下している。

有効求人倍率(常用)



有効求職者数・有効求人数(常用)



労働力需給(常用)

(単位:人、%、倍、ポイント)

		有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職申込件数		新規求人数		新規求人倍率		事業主都合離職者数	
		前年比		前年比		前年差		前年比		前年比		前年差		前年比	
R5	年度	85,857	▲2.3	72,802	▲4.4	0.85	▲0.02	16,794	▲3.4	25,880	▲4.0	1.54	▲0.01	2,004	▲10.2
6	年度	84,470	▲1.6	68,499	▲5.9	0.81	▲0.04	16,104	▲4.1	24,297	▲6.1	1.51	▲0.03	1,860	▲7.2
7	年度	82,105	▲2.8	63,895	▲6.7	0.78	▲0.03	15,911	▲1.2	22,312	▲8.2	1.40	▲0.11	1,851	▲0.5
R7.	4～6	21,197	▲7.4	17,192	▲1.3	0.81	0.05	4,471	▲2.6	5,933	▲2.0	1.33	0.01	523	1.9
	7～9	20,012	▲4.6	15,874	▲6.3	0.79	▲0.02	3,552	1.9	5,418	▲7.5	1.53	▲0.15	326	26.8
	10～12	19,919	▲2.0	15,491	▲8.5	0.78	▲0.05	3,543	▲5.1	5,306	▲10.2	1.50	▲0.08	492	▲9.6
R8.	1～3	20,977	3.5	15,338	▲10.9	0.73	▲0.12	4,345	1.2	5,655	▲12.7	1.30	▲0.21	510	▲6.6
	4～6	21,590	1.9	15,038	▲12.5	0.70	▲0.11	4,206	▲5.9	5,327	▲10.2	1.27	▲0.06	478	▲8.6
R8.	1	6,802	0.5	4,886	▲7.1	0.72	▲0.06	1,507	▲1.0	2,070	▲2.1	1.37	▲0.02	262	7.4
	2	6,949	4.2	5,145	▲12.1	0.74	▲0.14	1,313	4.5	1,890	▲19.8	1.44	▲0.44	116	▲22.7
	3	7,226	5.7	5,307	▲13.1	0.73	▲0.16	1,525	0.5	1,695	▲15.6	1.11	▲0.21	132	▲13.2
	4	7,413	4.9	5,020	▲15.1	0.68	▲0.16	1,771	▲5.1	1,846	▲14.9	1.04	▲0.12	241	▲2.8
	5	7,254	1.4	4,989	▲12.1	0.69	▲0.10	1,240	▲10.1	1,792	▲5.6	1.45	0.07	120	▲16.7
	6	6,923	▲0.8	5,029	▲10.2	0.73	▲0.07	1,195	▲2.4	1,689	▲9.5	1.41	▲0.11	117	▲10.7

※常用は新規卒者を除きパートタイムを含む。
事業主都合離職者数は新規卒者及びパートタイムを除く。

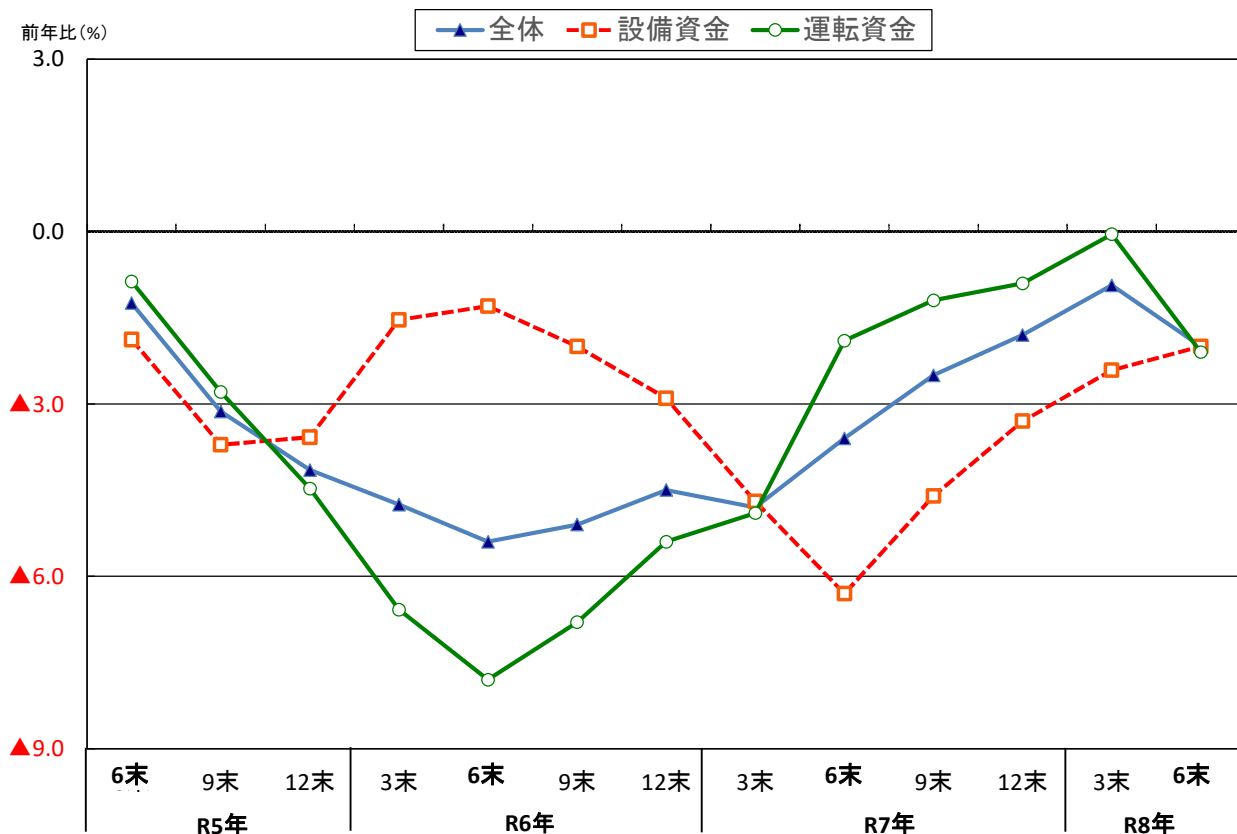
資料: 函館公共職業安定所

6. 金融～事業者向け貸出金残高は前年を下回る

事業者向けの貸出金残高をみると、設備資金及び運転資金は、いずれも前年を下回っている。

なお、個人向け及び地公体向けは、いずれも前年を上回っている。

事業者向け貸出金月末残高



貸出金残高

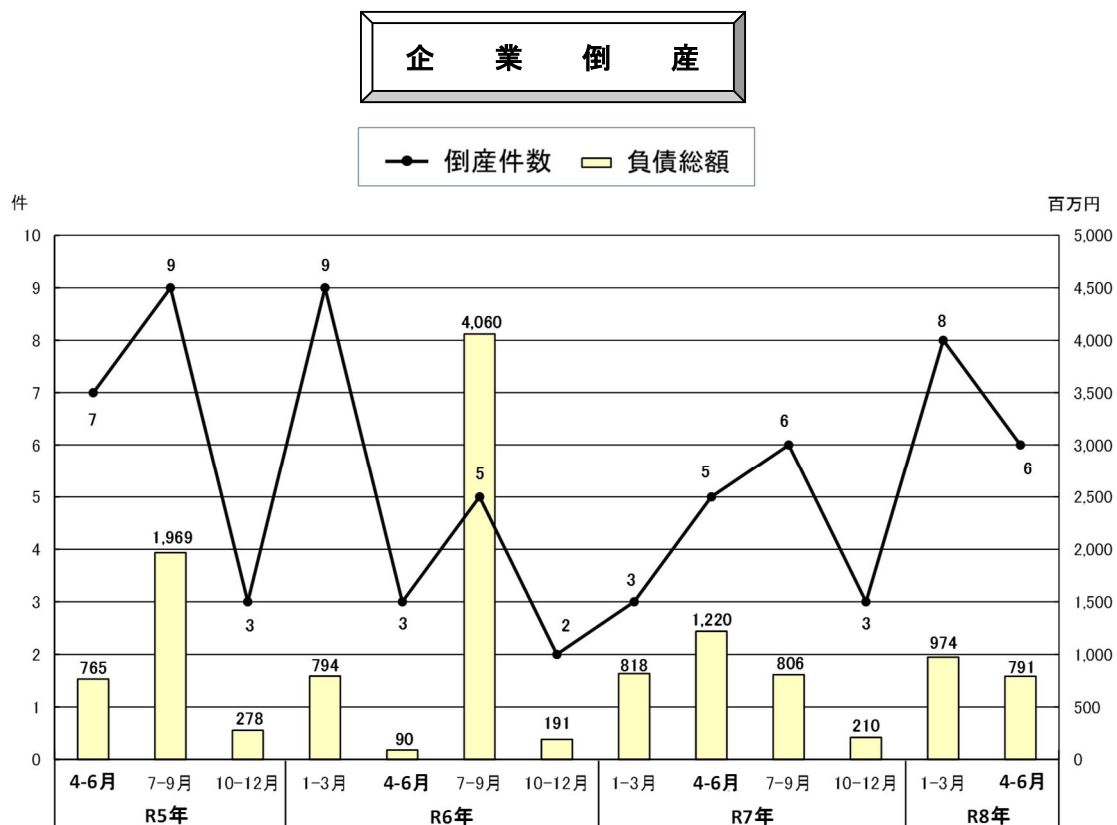
(単位:億円、%)

		貸出金合計		事業者						個人		地公体		預金残高	
			前年比		前年比	設備		運転			前年比		前年比		前年比
						前年比	前年比	前年比	前年比						
R6.	3	9,883	▲2.0	5,061	▲4.8	1,899	▲1.5	3,163	▲6.6	3,365	1.5	1,457	0.1	18,109	1.7
7.	3	9,556	▲3.3	4,817	▲4.8	1,810	▲4.7	3,007	▲4.9	3,399	1.0	1,341	▲8.0	18,194	0.5
8.	3	9,533	▲0.2	4,772	▲0.9	1,766	▲2.4	3,006	▲0.0	3,428	0.9	1,334	▲0.5	18,299	0.6
R7.	12	9,631	▲1.3	4,897	▲1.8	1,780	▲3.3	3,117	▲0.9	3,424	0.7	1,309	▲4.7	18,585	0.1
R8.	3	9,533	▲0.2	4,772	▲0.9	1,766	▲2.4	3,006	▲0.0	3,428	0.9	1,334	▲0.5	18,299	0.6
	6	9,451	▲0.5	4,624	▲2.0	1,740	▲2.0	2,884	▲2.1	3,426	0.9	1,401	1.6	18,456	▲0.7

資料: 函館財務事務所

7. 企業倒産～件数は前年を上回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)をみると、件数は前年を上回り、負債総額及び1件当たり負債額は前年を下回る。



企業倒産

(単位：件、百万円、%)

		件数		負債総額		1件当たり負債額	
			前年比		前年比		前年比
R5	年	27	50.0	3,324	▲19.2	123	▲46.3
6	年	19	▲29.6	5,135	54.5	270	2.2倍
7	年	17	▲10.5	3,054	▲40.5	180	▲33.3
R7.	4～6	5	66.7	1,220	13.6倍	244	8.1倍
	7～9	6	20.0	806	▲80.1	134	▲83.5
	10～12	3	50.0	210	9.9	70	▲27.1
R8.	1～3	8	2.7倍	974	19.1	122	▲55.3
	4～6	6	20.0	791	▲35.2	132	▲45.9
R8.	1	2	2.0倍	168	4.8倍	84	2.4倍
	2	2	0.0	163	▲79.2	82	▲79.1
	3	4	皆増	643	皆増	161	皆増
	4	4	4.0倍	691	4.9倍	173	23.6
	5	1	▲66.7	50	▲95.2	50	▲85.7
	6	1	0.0	50	66.7	50	66.7

資料：(株)東京商工リサーチ函館支店

8. 生産活動

ヒアリング先からのコメント

- 設備投資による生産能力の向上で、生産量は増加している。(電子部品)
- 生産にかかる燃料の価格上昇に加え、円安基調や輸送コストの増加などから製造コストは増加傾向にある。(窯業・土石)
- 北海道新幹線向けの出荷がピークを過ぎ、出荷量全体としては減少傾向にある。
(窯業・土石)
- 総じてみると安定した操業となっている。(造船)
- 不漁により先行きが不透明であることから、設備更新に対する投資意欲は弱く、修繕などで対応する場合が多い。(一般機械)
- 仕入価格やその他の製造コストの増加分を販売価格に転嫁することで売上げを確保してきたが、これ以上の値上げで販売量が減少することを懸念している。
(珍味加工)
- 国内産のイカは若干漁獲量が増えてきてはいるものの、直近2～3年ほどは価格が高止まりしている印象を受ける。(珍味加工)

「道南経済レポート」や、北海道財務局の活動についての情報は、
各種公式 SNS でもご覧いただけます。

公式 X(旧 Twitter)

https://x.com/mof_hokkaido



公式 Facebook

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Local.Finance.Bureau/>

公式 Instagram

https://www.instagram.com/mof_lfb_hk



【編集後記】

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。
おかげさまで「道南経済レポート」を発刊することができました。

これからも地域の状況を丁寧に見ながら、わかりやすくお伝えして
いきたいと思っています。

「ここが気になるな」といった点などがありましたら、どうぞお気軽に
お知らせください。



【連絡先】

財務省 函館財務事務所 財務課

函館市美原 3 丁目 4 番 4 号 (函館第 2 地方合同庁舎)

TEL : 0138 - 47 - 8445

ホームページ :

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>

